

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和04年01月19日

計画の名称	安心・快適に暮らせるまちづくり												
計画の期間	令和04年度 ~ 令和04年度 (1年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	西尾市												
計画の目標	本市の人口及び世帯数は増加傾向にあり、住宅需要の増加が見込まれている。しかし、その一方で、ミニ開発等による市街地の不規則な拡大、スプロール現象が懸念されている。そこで、当地区においては、都市基盤の計画的な整備として、土地区画整理事業による公共施設整備を行い、良質な生活環境の整備を目標とする。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	137	A	137	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	土地区画整理事業を施行し、宅地の利用増進を図ることにより、2地区の区画整理地区内の人口を7人から402人に増加させる。 区画整理地区内人口	7人	人	402人
2	土地区画整理事業を施行し、保育園用地を確保することで、老化した地区周辺2園の移転新築を推進し、受入れ可能園児数を380人から422人に増加させる。 受入れ可能園児数	380人	人	422人
3	土地区画整理事業を施行し、公共施設整備を行うことで、2地区の区画整理地区内の低未利用地(無接道敷地)を30,546m ² から0m ² に解消する。 低未利用地	30546m ²	m ²	0m ²

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R04	R05	R06	R07	R08			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	西尾市	間接	西尾上矢田 北部土地区 画整理組合	-	-	西尾上矢田北部土地区画 整理事業	都市再生区画整理 A=4.06ha	西尾市					89	1.16	-	
	R5年度より、都市構造再編集集中支援事業へ移行																		
	A13-002	市街地	一般	西尾市	間接	西尾天神前 土地区画整 理組合	-	-	西尾天神前土地区画整理 事業	都市再生区画整理 A=2.13ha	西尾市					48	2.76	-	
	R5年度より、都市構造再編集集中支援事業へ移行																		
											小計					137			
											合計					137			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R04				
配分額 (a)	0				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	0				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	0				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額 (g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 安心・快適に暮らせるまちづくり

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○